

# 最先端の技術を駆使し総合病院の強みを生かした正確で安全な治療

一般財団法人住友病院では、人工関節センターにロボット手術支援システム「Mako（メイコー）」（以下、「Mako」）を大阪市内で最初に導入した。2020年6月から「Mako」を使用して、人工股関節置換術、人工膝関節置換術を行なつており、いずれも保険診療で受けられる。

同院はこれまでナビゲーションシステムを使い、質にこだわった手術を数多く行ってきた。経験豊富な3人の医師が「Mako」を活用し、術前計画通りに骨を掘削・

切除して、ミリ単位の微調整を行いながら手術を進める。人工関節を正確かつ安全に設置することにより、人工股関節置換術では手術後の脱臼を減らし、人工膝関節置換術では術後の痛みも少なく安定した動きのいい膝になり、ともにより高いレベルへの機能回復が可能と考えている。

更に人工股・膝関節置換術を受ける患者は高齢者が多く、内科疾患を抱えていることも少なくない。同院は各種内科の専門医が在籍している総合病院なので、高齢の患者でも安心して手術を受けられることも強みだ。



②整形外科診療主任部長  
兼人工関節センター長

渋谷 高明

②整形外科医長兼  
人工関節副センター長

津田 晃佑



## ②一般財団法人 住友病院

〒530-0005

大阪市北区中之島5丁目3番20号

TEL: 06-6443-1261

<https://www.sumitomo-hp.or.jp/>

